



群馬県健康推進学校“優良校”を4年連続受賞

11月10日(木)に、前橋市の群馬会館で、群馬県教育委員会・群馬県学校保健会が主催する群馬県健康推進学校表彰式が行われ、今年度も北小学校が「優良校」として表彰されました。今回で4年連続の受賞となりました。

＜心身ともに健康で安全な生活を進んで実践できる児童の育成＞を研究テーマにして、「①歯と口の健康を目指す指導」「②基本的な生活習慣の改善を目指す指導」「③心身の健康づくりを目指す指導」の三本柱で、幅広い実践を具体的に積み重ねてきたことが評価されました。



4年生が福祉体験

11月10日(木)の第5・6校時に、4年生が福祉体験活動を行いました。

これは、総合的な学習の時間の単元：『いろいろな人と心を伝え合おう(福祉)』で、「障害について自分なりの課題をもち、調べ方やまとめ方などを工夫しながら、意欲的に追究活動を行う」という目標を達成するために取り入れた体験活動です。

＜体験学習ボランティア かるがもの会＞の会員の皆さんに講師をお願いし、「車椅子体験」とアイマスクや白杖を使った「視覚障害(ブラインドウォーク)体験」を通して、車椅子の扱い方や介助の方法、目が不自由な人の介助の仕方を学習しました。



【あいさつ・全体説明】



【車椅子体験】



【ブラインドウォーク体験】

3年生が織物体験

11月11日(金)の10:50から12:10に、3年生が織物体験事業を行いました。

この織物体験は、児童が「講話」と「手織り体験」を通して、桐生市の伝統産業である絹織物について、その美しさや優れた点を学び、郷土桐生の伝統工芸の素晴らしさを実感するとともに、「桐生を好きな子供」を育み、伝統文化の継承につなげるために行われている桐生市教育委員会の主催事業です。

当日は、桐生織物協同組合：伝産委員会に所属する「桐生織伝統工芸士」の方が3名来校し、絹織物の仕組、絹製品や伝統工芸品の特性・技法・原材料について講話を行った後に、児童一人一人に織機を操作させて、手織りによる絹織物製作の指導をしてくださいました。



【着物と帯の説明】



【糸結び体験】



【手織り体験】

パソコン周辺機器や配線を整理するスクールサポートボランティア

10月13日(木)と11月2日(水)の2日間に渡って、本校の保護者でもある金口輔さんに、パソコンの周辺機器や色々な配線の整理にかかる環境整備（必要な配線と不要な配線の確認、不要な配線の整理作業、用途不明な機器の説明、使用していない機器の廃棄方法の確認など）を、スクールサポートボランティアとしてやっていただきました。

それぞれ2時間近くに渡って、分かりやすい説明やアドバイス、整理のための作業をしていただいたお陰で、共用パソコンが置いてあるスペースを綺麗に整理整頓することができました。たいへんありがとうございました。



岩宿文化賞授賞式

11月13日(日)の13:30から、みどり市笠懸公民館で、平成28年度みどり市岩宿文化賞（本賞：3年に1回、研究奨励賞一般部門：3年に1回、研究奨励賞学生部門：毎年）の授賞式が行われました。

研究奨励賞学生部門賞では、小中学生から応募があった412点の研究物の中から、優秀研究賞2点、ユニーク研究賞2点、努力賞10点が選ばれ、4年生の畑口実口さんが研究してまとめた『旧石器時代のくらし図かん』が＜努力賞＞を受賞しました。おめでとうございます。

時間をかけて調べ、丁寧に見やすくまとめた図鑑はたいへん素晴らしい労作でした。



【一番右の受賞者が畑口実口さん】

